

令和4年度 第14回魚沼地域親善陸上競技大会 開催要項

1 目的

魚沼地域で成長する児童の基礎体力、走・跳・投の基本的運動技能の向上と親善交流を図るため、陸上競技大会を開催する。

2 主催

魚沼地域スポーツ協会協議会

3 後援

小千谷市教育委員会、十日町市教育委員会、魚沼市教育委員会、南魚沼市教育委員会、湯沢町教育委員会、津南町教育委員会、中越地区陸上競技協会連絡協議会

4 主管

十日町市陸上競技協会

5 期日

令和4年9月11日（日） 雨天決行

6 会場

十日町市中条乙 2563 十日町市陸上競技場（☎025-757-2090）

7 競技種目

種別	短距離走	ハードル	長距離走	跳躍種目	投てき種目
小学1,2年男子	50m				
小学1,2年女子	50m				
小学3年 男子	60m		800m		
小学3年 女子	60m		800m		
小学4～6年男子	100m	80mハードル	1500m	走幅跳	ジャベリックボール投
小学4～6年女子	100m	80mハードル	800m	走幅跳	ジャベリックボール投

8 参加資格

魚沼地域スポーツ協会協議会の構成市町内の児童

※出場単位はスポーツ団体（スポーツ少年団等）、小学校とする。

9 参加料

1人 500円（アスリートビブス代含む） ※複数種目出場可（ただし、2種目までとする）

10 競技規定

- （1）競技は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項により行う。
- （2）競技者は、アスリートビブス（従来のナンバーカード）を胸と背に着けて競技すること。アスリートビブスは主催者で用意し、大会当日受付にて渡す。また、腰ナンバー標識については、短距離は各校で用意すること。（事前にアスリートランキングで所属選手のレーンナンバーを確認すること。） なお、長距離については主催者側で用意する。
- （3）スパイクは全天候型競技場用平行ピンとし、ピンの長さは7mm以下とする。但し、4年生以上が使用可
- （4）ジャベリックボール投のボールはNT5201とする。
- （5）80mハードルについては、スタートから第1ハードルまで12mとし、インターバルは7mとする。台数は8台で、最終ハードルからフィニッシュラインまでは19mとする。高さは全国大会用の70cmとする。

11 大会日程

7:45 受付開始

7:55 監督・代表者会議

8:05 役員打合せ

8:20 開始式（自校テントで行う）

9:00 競技開始

13:00 競技終了（予定）（閉会式は行わない）

12 表彰

各種目とも3位までメダルと賞状を授与する。参加賞あり。

13 申込方法

- (1) クラブチームに所属していて、アスラン登録をしている選手は、アスリートランキングにログインし、申込手順に従って、選手登録、各種目へのエントリーを行うこと。
- (2) (1) 以外の選手は、アスリートランキング大会詳細ページの「ID を使わないエントリーはこちらから」をクリックしメールアドレスを入力する。案内メールが届くので、それに従って所属・氏名・参加種目等を入力すること。なお、Gmail や Yahoo!メールでは迷惑メールのフォルダに入っていることがあるので、「詳しくはこちら」を参照のこと。もしうまくエントリーできない場合は、申込先のメールアドレスに連絡すること。
- (3) (1) の場合は申込時に役員協力者 2 名を記入すること。(2) の場合は申込先に役員協力者 2 名をメールか FAX すること。(様式任意)
- (4) 参加料については、締め切りまでに事務局へ持参するか、下記口座へ振込むこと。

振込先：第四北越銀行 小千谷中央支店 普通 1300842

「うおぬまち いき魚沼地域スポーツ きょうかいきょうぎかい協会 かんじちよう協議会 たかはし幹事長 きへいた高橋 喜平太」

- (5) 締め切り 令和4年8月12日(金) 必着
- (6) 申込先 〒949-6680

南魚沼市六日町 865 番地 (南魚沼市民会館内)

TEL: 025-773-6630 FAX: 025-772-8161

E-mail:sports@city.minamiuonuma.lg.jp

14 その他

- (1) 大会当日の負傷については主催者は応急処置のみ行う。その後の処置については各チームで対応すること。
- (2) 招集は招集所で行い、トラック競技は競技開始 20 分前、フィールド競技は競技開始 30 分前までに完了すること。
- (3) 2 種目を兼ねて出場している競技者で先行してフィールド種目に出場している競技者は、当該競技の審判員に申し出てトラック種目に移動し、それが終了したら直ちにフィールド種目の競技場所へ戻ること。
- (4) 各チームと競技役員にプログラムを 1 部ずつ配布する。
- (5) 新型コロナウイルス感染症の拡大等により開催準備に支障が生じ、開催の見通しが立たない場合、または行政機関によるイベント開催自粛要請があった場合は、大会中止または延期とする。

15 新型コロナウイルスの感染予防対策について

- (1) チーム代表者ならびに競技役員は、参加者氏名・連絡先(電話番号)・平熱を超える発熱の有無を、主催者側に提出できる準備をしておくこと。
※各チームは、選手・顧問・競技役員協力者の名前・連絡先・平熱を超える発熱の有無が記載された一覧表を受付時に必ず提出すること。(参考様式を用意します。)

(2) マスクおよびフェイスシールドの着用について

ア 参加者ならびに競技役員は、必ずマスクを準備すること。

イ ウォーミングアップ中や競技中は、マスクを着用しなくてもよい。

※マスク(特に外気を取り込みにくいN95 などのマスク)を着用して運動やスポーツを行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性がある。熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなる。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理しないこと。

ウ 招集所では、できるだけマスクを着用すること(※の理由から、競技直前に体を動かしたり、息苦しさを感じたりする場合にはマスクを外すこと)。

エ 自校テント内、用具の準備片付け、参加の受付、着替え、表彰式等の運動を行っていない間は時には、マスクを着用すること。

オ 競技役員は、原則マスクを着用すること。競技者係など声を発する場面が多い役員はマスクの代わりにフェイスシールドを着用してもよい。

(3) 手洗い・トイレについて

ア こまめに手洗いを行うこと。

イ 招集前とレース後は必ず手を洗うこと。

- ウ 持参した自分のハンカチや布タオルで、手を拭くこと。
- エ 選手はスタンド両サイドと芝生スタンドのトイレを使用すること。競技役員及び保護者はスタンド内のトイレを使用すること。

(4) ウォーミングアップについて

- ア 集団（3人以上）でのウォーミングアップは行わないこと。
- イ 他選手と1m以上間隔をとって行うこと。
- ウ ランニングをする際は、前後の間隔を十分に空けて行うこと。
- エ 会場準備が終わり次第、競技場を開放する。（放送合図あり）
- オ 競技中は、外周道路、正面駐車場とする。（場内の使用は、状況を見て総務が判断する）
- カ 直線種目の時間帯は、バックストレートを開放する。（放送合図あり）

(5) 招集所やスタート前について

- ア 招集所では、役員の指示に従って他選手との距離を1m以上とること。
- イ 不必要な会話は控えること。
- ウ マスクについては、(2)を参照すること。
- エ レース前・試技前に、待機テントに設置してあるアルコール消毒液で手を消毒すること。

(6) 保護者の観戦や応援について

- ア 保護者が正面スタンドを利用する場合は、入場ゲートにて受付シートに氏名・連絡先（電話番号）を記入して入場すること。
- イ 用のない限り、選手のテントには立ち入らないこと。
- ウ 集団での応援はしない。
- エ 他応援者との距離をできるだけ確保すること。
- オ 周囲に人がいる場合は、マスクを着用して観戦・応援すること。

(7) 更衣室について

- ア 更衣室の利用は、4人以下で使用する。
- イ 必ずマスクを着用して利用すること。

(8) 飲食について

- ア 回し飲みや他選手の飲み残し（食べ残し）をもらうなどの行為はしないこと。
- イ 普段よりも個人、各チームで氷やドリンクを多めに用意すること。

(9) その他

- ア トイレ内（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）と手洗い場（蛇口やレバー）については主催者側が、1時間に1回消毒を行う。
- イ 他校のテントに決して行かないこと、テントはできるだけ間隔を空けて設置すること。
- ウ ゴミは各自で必ず持ち帰ること。